

災害対応の地域研究シリーズ第5巻

清水展・木村周平編著『新しい人間、新しい社会——復興の物語を再創造する』

(京都大学学術出版会、2015年12月、A5判並製、400頁、税込4,320円)

ISBN: 978-4-8769-8899-0

【内容】

災禍から、真の創造的復興へ

公的制度に規定された日本の復興事業は、被災者の創造力を奪っていないか？ 国内外の被災地を見てきた研究者が災害対策を現場から捉え直す。災害を生みの苦しみに転換する。

【目次】

はじめに——災害から新しい人間と社会の想像＝創造へ（清水展・木村周平）

第一部 紡ぎ出す、読み替える

第1章 先住民アエタの誕生と脱米軍基地の実現

——大噴火が生んだ新しい人間、新しい社会（清水 展）

第2章 現場で組み上げられる再生のガバナンス

——既定復興を乗り越える実践例から（大矢根 淳）

第3章 復興の物語を読み替える——スマトラの「標準の復興」に学ぶ（山本博之）

コラム1 居住の権利——住むことは生きること（たけしまさよ）

第二部 忘れる、伝える

第4章 神戸という記憶の〈場〉

——公的、集会的、個的記憶の相克とすみわけ（寺田匡宏）

第5章 プーケットにおける原形復旧の10年

——津波を忘却した楽園観光地（市野澤潤平）

コラム2 コミュニティ防災の決め手（鍵屋 一）

第6章 制度の充実と被災者の主体化

——生活再建をめぐるせめぎあいの20年（重川希志依）

第7章 トルコ・コジャエリ地震の経験の継承

——私の声が聞こえる人はいるか？（木村周平）

第三部 作り出す、立ち上がる

第8章 小さな浜のレジリエンス

——東日本大震災・牡鹿半島小浜の経験から（大矢根 淳）

第9章 アートによる創造的復興の企て——保険に支えられた移動／再建（大谷順子）

第10章 復興ツーリズム——震災後の新しい観光スタイル（山下晋司）

コラム3 被災者と外部者の中から見たボランティアツーリズム（内尾太一）

おわりに——被災とともに（木村周平・清水展）

「災害対応の地域研究」シリーズの結びにかえて